

## 2022年度 つむぎ 吉祥寺ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について	
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.0	日々美観も含めて清潔かつ整理整頓を意識していただき、ありがとうございます。今後も声を掛け合いながらよりよい環境を整えてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.8	十分とお話をいただいております。今後も安心安全な活動提供のため、引き続き採用活動等に注力していきたいと考えております。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.8	今後も適切な休憩や休暇が取れるような仕組みづくりを継続してまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		限られた環境かつ人員体制について、日々工夫して活動していただきありがとうございます。今後も適切なサポートを得ながら、環境を整えていきたいと考えております。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.3	園会議等でスタッフ全員が業務改善やPCDAサイクルを理解し、それぞれの視点から参加できるよう定期的に目線合わせを行ってまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.7	日々保護者様のご意向やご意見を都度確認しながらご対応くださりありがとうございます。今後も様々な視点からの現状把握に努めていければと考えております。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.8	昨年度と引き続き掲示およびホームページで公開予定です。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.2	内部監査とはなりましたが、評価の目線が入ったことで継続的に業務改善を意識していけるよう努めてまいります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.5	様々な研修のお知らせや、各スタッフの資質や経験、学びとなりえる研修については、積極的に案内をしております。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		PCの台数を増やしてほしいとお声をいただきました。ありがとうございます。今後のルーム運営の参考にいたします。職員それぞれが学びと成長を得られるよう体制を整えてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4.2	アセスメントの対応や見学対応について共有し、ロールプレイや実際の場を見学できる場を設け、職員が不安なくツールや能力を活用して対応できるようフォローしてまいります。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.3	引き続き複数の目でお子さまの支援を検討できるよう体制を整えてまいります。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.3	日々ねらいや支援目標に沿ったプログラムの立案を心掛けていただきありがとうございます。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.3	季節に応じた活動や連続性を持った活動等、お子さまの様子も加味しながら工夫してプログラムを組み立てていただきありがとうございます。今後も楽しくかつ成長を感じられるプログラムの立案ができるよう意識してまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.7	事前に必ず打合せを行い、配置や役割分担、働きかけの内容や工夫においても細かく共有していただき、ありがとうございます。今後も声を出して確認しあいながらプログラムを進めていけるよう環境を設定していきます。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	5.0	振り返りのやり方や工夫について定期的に園会議等で話し合い、適切な振り返りが行えるよう体制を整えてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.8	引き続き通常の書面記録だけでなく、月単位や年単位での成長の様子を記録したり、写真や動画の記録も交えながら支援の検証や改善を考えてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.5	今後も個々の成長に応じて、保護者様とご相談しつつ、適切な見直しと見直しを立てていけるよう体制を維持してまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.5	公園や畑仕事、空青保育、製作等様々な活動からさらに支援が充実していけるよう引き続き支援の幅をひろげてまいります。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		個別支援計画を立てるスキルの不足を心配するお声がありました。ありがとうございます。計画に触れ、理解する、お子さまの状態像をつかんでいくこと等ひとつひとつ確認していきながら、無理なくスキルアップできるようフォロー体制を確立してまいります。
	保護者との関係連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.5
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	4.5	保護者様とお話をする中で、ご所属の幼稚園や保育園等にも積極的に出向いていただきありがとうございます。引き続き連携しながらお子さまの支援ができるよう努めてまいります。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	4.5	現在コロナ禍ということもあり、物理的な連携の難しさもありますが、適切な連携がとれるよう仕組みを整えていきます。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.5	特に年長児には、就学においての支援だけでなく、放課後の過ごし方などを確認し、必要な情報提供ができるよう事業所内の情報管理や環境を整えてまいります。

保護者との関係機関や連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.3	現在コロナ禍ということもあり、物理的な連携の難しさもありますが、適切な連携がとれるよう仕組みを整えていきます。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.2	市からの案内に基づいて、意図を明確にした上で会議に参加しております。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	3.8	青空保育や地域の公園等で引き続き地域で子育てができるよう活動の幅をひろげてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.5	感染症の現状も考慮しつつ、事業所を地域に知っていただくアクションを複数起こしていけるよう検討してまいります。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.3	相談支援を活用しての保護者支援が少しずつ定着してきておりますが、必要な方に適切に使っていただくことや、もっと多様な保護者支援のあり方について検討してまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		コロナ禍でできることが限られている中、できることを模索してくださりありがとうございます。引き続き地域とともに育つことを考えながら、子育てや支援を行えるよう努めてまいります。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.5	見学対応や契約時対応等、様々な職員が同じ水準で提供できるよう、定期的にロールプレイや実際の対応についてまんべんなく聞かれるよう配慮してまいります。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.7	市内連絡会や情報交換を活用しながら、不安なく職員が助言や支援ができるよう環境を整えてまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.5	お話しの会や青空保育を入口にしながら、保護者様のニーズに沿った連携や居場所を提供できるよう引き続き支援を行ってまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.2	苦情があった場合については、迅速な事実把握と適切な対応ができるよう、お子さまや保護者様と丁寧なコミュニケーションを積み重ねてまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.7	引き続き掲示やおたより、活動についてはブログ等を通じて情報を発信できるよう努めてまいります。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.7	様々なコミュニケーションや伝え方ができるよう、引き続き学びの場や実践、密な連携等を意識して環境を整えてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.5	事務室内での書類やデータの扱いについて意識的に注意いただきありがとうございます。引き続き高い意識で取り組めるよう努めてまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.7	チームでより良い支援にあたるために、より適切によりよい連携や情報共有ができるよう努めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		カフェでの雑談や居心地の良い空間づくりを意識していただきありがとうございます。今後もつむぎで様々な子育て支援を行えるよう環境を整えてまいります。
	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.3	必要なマニュアルについては全て見える化し、更新や内容変更があった際は即時周知徹底を再度確認します。
非常時の対応について	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.5	定期的な避難訓練の実施および緊急時の対応についても訓練を行い、どんな状況でも適切な対応が取れるよう体制を整えてまいります。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.2	年に1回以上虐待防止の研修を行うことや、定期的にマニュアルや職員自身の言動の振り返り等を意識して業務にあたるよう環境を設定してまいります。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.5	事業所内で事故やヒヤリハットが起こった際の対応や再発防止策の会議について、職員一人ひとりが意識高く考察できるよう定期的に開催してまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		いつどんな非常対応が求められるてもよいように、定期的に訓練や話し合いを行い、迅速かつ適切な対応ができるよう環境を設定してまいります。
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.5	お子さまや保護者様が通所を楽しみにしていることはもちろん、職員自身がモチベーション高く支援にあたり、還元できるよう体制を整えてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.8	お子さまの変化や成長をより感じたり、保護者様と共有していけたりできるようなツールや伝える手段の幅をひろげていけるようあり方を検討してまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		スタッフ同士が学びあい、つむぎが地域で愛される場所であるよう心掛けていきたいとお声がありました。ありがとうございます。一人ひとりが強みを活かし、チームで支援を行うよるこびが感じられるよう環境を整えてまいります。

アンケート実施期間：2022年8月12日～9月5日  
全回答数：6

つむぎ 吉祥寺ルーム  
施設長 齋藤 友貴